

令和4年度 香川森林管理事務所の重点施策

～ 地域の林業成長産業化に向けた取組 ～

令和4年4月

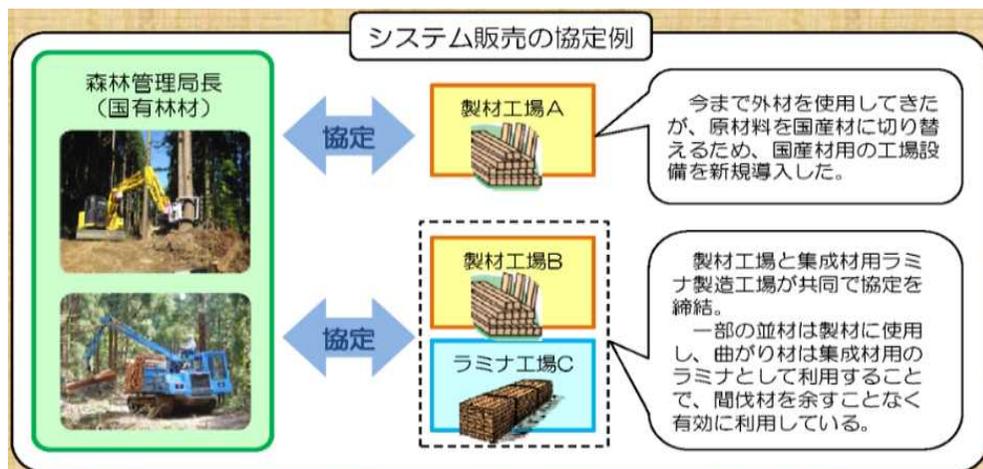
香川森林管理事務所

1. 国産材の安定供給に向けた取組

- 森林管理局と加工製材者の協定締結による国有林材(製品)の安定供給システム販売を推進 (令和2年度3.7千³m → 令和3年度3.3千³m → 令和4年度4.9千³m ※製品材積 香川森林管理事務所分)
- 製品事業において、複数年(3ヶ年)契約により、安定した事業量及び生産量を確保。
- 国有林材(立木)の分収造林地を含む立木販売を拡充 (令和2年度7.5千³m → 令和3年度14.9千³m → 令和4年度17.8千³m ※立木材積 香川森林管理事務所分)

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み

製材・合板工場 森林管理局 (国有林材) 素材生産業者



※システム販売の対象は、製品(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。

※立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内。

■ 香川森林管理事務所の国有林材の素材供給量

(千³m)

	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度
製品販売	3.6	1.3	3.5	3.7	3.3	5.0
(システム販売)	3.6 (100%)	1.3 (100%)	3.5 (100%)	3.7 (100%)	3.2 (97%)	4.9 (98%)
立木販売	3.4	3.7	6.0	7.5	14.9	17.8

■ 製品のシステム販売

(まんのう町 八丁64 土場)



■ 立木のシステム販売

(観音寺市 末美谷山80)



2. 地域の安心・安全を守る山地防災力の強化

- 地域住民の暮らしに重大な影響を及ぼす道路(国道)や農業用水等の重要インフラを保全対象とした復旧・予防対策を実施。(2箇所5千5百万円(仲多度郡まんのう町滝山、東かがわ市兼広))
- 災害時にはドローンによる調査を速やかに実施。

令和4年度 香川県内の治山事業の実施予定地区

治山事業:兼広(東かがわ市)

治山事業:滝山(仲多度郡まんのう町)

治山・溪間工

溪間工事は、荒廃した溪流の勾配を緩和するなどして浸食の防止を図ります。

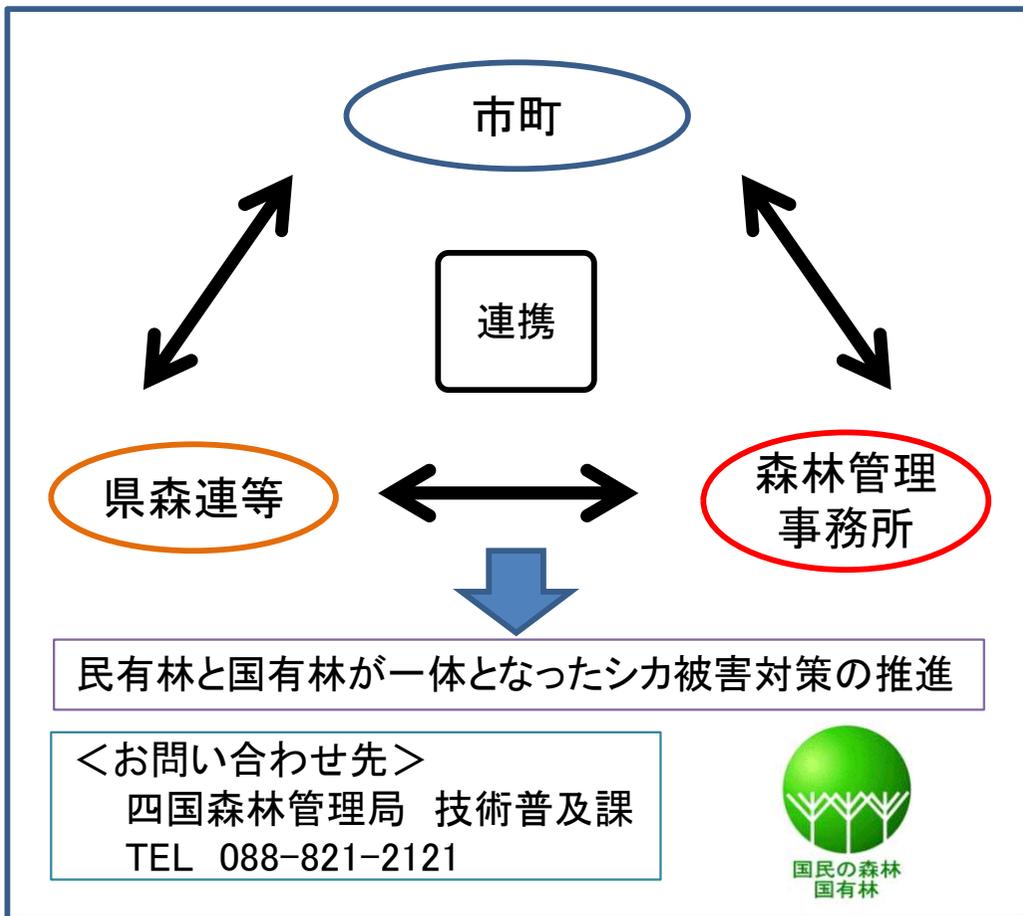


荒廃した溪流に設置された谷止工

3. 香川県森林組合連合会との協定締結によるシカ被害対策の推進

- 香川県東部の徳島県境付近でニホンジカの日撃や樹木の皮剥ぎが発生。
- このため、平成28年12月に香川森林管理事務所と香川県森林組合連合会はシカ被害対策連携協定を締結し、四国森林管理局が開発した小型囲いわな「こじゃんと1号」の無償貸与と捕獲技術の支援等を実施。
- 平成29年7月に東かがわ市中尾国有林内の林道沿いに小型囲いわな5基とセンサーカメラを設置し、シカの捕獲と出没状況を定点監視。
- 令和3年度はニホンジカ22頭を捕獲(平成29年度からの累計121頭)。

■ シカ被害対策連携協定



■ シカ被害対策連携協定のメリット

- ①シカの囲いわな等を無償で貸与
- ②国有林の入林手続を簡素化(協定の始期に入林証を交付)
- ③車両の乗り入れによる捕獲推進のため国有林内の林道ゲートの鍵を貸与
- ④森林管理事務所がわな設置等の捕獲技術を支援

■ 軽トラにも積載可能な小型 囲いわな「こじゃんと1号」

■ 捕獲したオスジカ



4. 無線とモバイル通信を活用したシカわな遠隔捕獲通知システムの実証

- 香川森林管理事務所は、わなの巡回作業の軽減を図るため平成31年度に民間会社((株)アイエスイー(三重県鈴鹿市))が開発した無線とモバイル通信を活用した「長距離無線式捕獲パトロールシステム(ほかパト)」を導入した。ほかパト基地局(親機)を東かがわ市の中尾国有林に設置、その約10km圏内の山間部に設置している小型囲いわな7基に子機を取付けて、わなの作動状況が無線(LPWA)とモバイル通信を介して瞬時に捕獲者の携帯端末に通知される。運営経費はモバイル通信費(約2千円/月)程度である。
- 東かがわ市と「ほかパトの利用等に関する協定」を締結し、同市で増大している被害を防止するため支援活動を実施。

■ 長距離無線式捕獲パトロールシステム

(出展) (株)アイエスイー資料

■ 基地局(通信距離10km以上)



■ 小型囲いわなに設置された(子局)



■ 小型囲いわなと子機



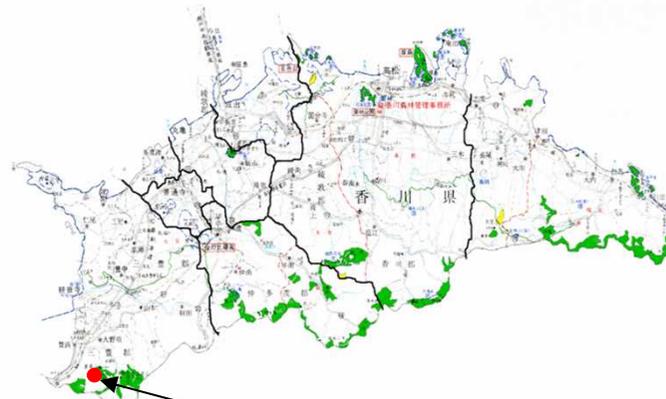
5. 生長が早い早生樹センダンの導入による低コスト林業の実証

- センダンとは、沖縄から四国の暖地に自生する落葉樹で、成長が早く約20～30年で短期収穫が期待される早生樹の一つ。国産材需要が高まる中で早期生長、下刈り省力化、萌芽更新等による保育・造林コストの削減や短伐期施業による早期の投資回収を期待。
- 香川森林管理事務所は、平成27年から香川県森林センターと共同でセンダンの種子採取と苗木の育成を行い、平成29年に観音寺市の国有林内(末美谷山)の試験地(約400㎡)にセンダンのコンテナ苗(32本)を植栽し、成長特性等を調査。
- 植栽後4年5ヶ月が経過し、肥料を施したセンダンは樹高が10倍、根元径は20倍に達している。

■ センダンのコンテナ苗



■ センダンの試験地(観音寺市末美谷山)



センダン試験地



■ センダンの成長特性調査の結果

	根元径	樹高
H29.5.18 (植栽時)	1.7mm	22.7cm
	↓	↓
R3.10.18 (約4年後)	26.4mm	187.3cm
成長率	1,553%	827%

センダンは、植栽してから短期間で著しい成長が見られている。特に肥料を施したものは平均径3.5cm、平均高247.4cmに達している。

今後さらに調査を重ね、データを蓄積。

6. 飯野山<讃岐富士>の市民参加による登山道整備の推進 ～ 一日一石運動 ～

- 飯野山<讃岐富士>は、香川県丸亀市と坂出市の境に位置する円錐形の美しい里山(標高422m)。新日本百名山の一つで、山頂周辺は瀬戸内海国立公園、飯野山風景林に指定され、健康づくりも兼ねて多くの登山者が訪れている。
- この美しい里山を次世代に残すため、平成29年4月22日、里山まつり山開き式に併せて丸亀市、坂出市、登山者及び香川森林管理事務所が連携し、登山口に用意した修繕用の石と土を登山者が持ち運んで登山道を整備する「一日一石運動(土石の流出防止のためのヤシ繊維製の土嚢)」を実施している。

飯野山<讃岐富士>

- ・標高 422m
- ・所在地 丸亀市・坂出市
- ・4月22日の「讃岐富士の日」に里山まつり山開き式を開催



年間4万7千人もの登山者
(健康づくり等のため毎日登る人も)

飯野山の「一日一石運動」



谷らしい谷がないため雨水は登山道をたどって流下→荒れる登山道

4月22日の山開き式で
一日一石運動を周知



丸亀側登山口に
置いた砕石と花崗土

修繕が進んだ登山道



安全な登山に寄与
市もHPや広報で情報発信



登山者が土と石を
持ち運び自ら修繕